



■脳卒中ってどういう病気？

■病気やケガで
働けなくなったりするときのこと

■投資の3つのルール

差出人：株式会社ベストプランニング本店
福岡県久留米市南3-23-19-1
朝倉支店 福岡県朝倉市甘木184-1
佐賀支店 佐賀県佐賀市本庄町末次32-32-202

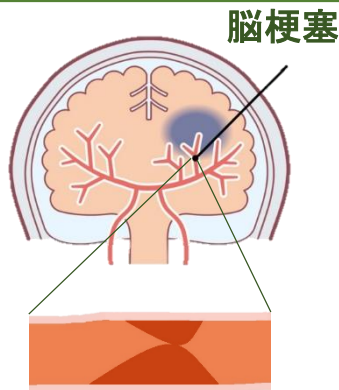
料金別納
郵便

脳卒中ってどういう病気？

脳卒中とは、突然に脳の血管が詰まったり破れたりする病気の総称です。医学的には脳血管障害と呼ばれ、大きく分けると、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の三種類になります。脳には多くの血管が走っていますが、脳細胞は動脈を流れる血液から酸素や栄養をとり込んでいます。しかし、主に動脈硬化が原因で血管に障害がおきると、酸素や栄養が十分に行きわたらなくなるため、脳細胞が死滅し、機能が損なわれてしまいます。その結果、急に手足が動かなくなったり、話せなくなったり、意識がなくなったりするなどの発作をおこします。

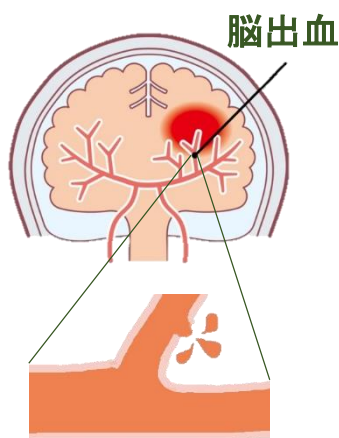
脳梗塞はどんな病気？

脳梗塞とは、脳内の血管が詰まったり、細くなったりして血液の流れが悪化し、その部分の脳細胞が死んでしまう病気です。脳の血管が詰まって血流が完全に止まると、脳細胞は数分で死滅し、回復することはありません。しかし、脳梗塞の多くは血管の1本だけが詰まるもので、その周囲の脳細胞は死んでしましますが、他の血管から血液が供給される部分の脳細胞はまだ生きています。



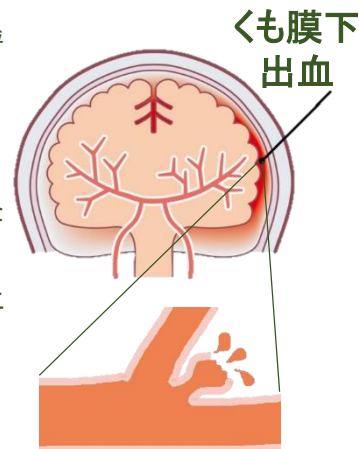
脳出血はどんな病気？

脳出血とは、脳の細い血管が破れて、脳の組織内に出血する病気です。昔は「脳溢血(のういつけつ)」と呼ばれていました。出血すると、それが固まって血腫となり、脳細胞を破壊したり、周囲の脳を圧迫したりするため、脳の働きに異常がおこるようになります。突然、頭痛や嘔吐(おうと)がおこり、半身の麻痺やしびれを伴います。半身の麻痺や言語障害など、重度の後遺症が残るケースが多く見られます。



くも膜下出血はどんな病気？

脳は3層の膜に覆われており、内側から軟膜、くも膜、硬膜と呼ばれます。くも膜下出血とは、くも膜と軟膜の間を走る動脈にできた脳動脈瘤(のうどうみゃくりゅう)が破れて出血する病気です。脳全体に出血が急激に広がるため、ダメージが大きくなるケースが多く見られます。くも膜下出血の典型的なケースでは、突然、これまで経験したことのないような激しい頭痛と嘔吐がおこります。脳動脈瘤は一度破裂すると再び出血することが多く、二度目の出血で死亡したり、重い後遺症が残ったりする例も少なくありません。



脳卒中はどんな症状がおきる？

「卒中」とは古い言葉で、突然倒れる発作を意味します。脳卒中という病気のキーワードともいえるのが、この「突然」におこるという点です。症状が徐々に悪化して病気が進むのではなく、ある日突然、血管が詰まったり破れたりしたときに発作をおこします。

脳卒中の代表的な症状

- 突然、顔や手足の片側がしびれたり、力が入らなくなる
- 突然、舌がもつれる、言葉が出てこない、相手の言葉が理解できなくなる
- 突然、片目、または両目が見えにくくなる
- 突然、めまいや歩行障害がおこる
- 突然、原因不明の激しい頭痛に襲われる

突然、「脳卒中の代表的な症状」が一つでも見られる場合は、脳卒中である可能性が高くなります。すぐに救急車を呼んで、一刻も早く治療を受けるようにしましょう。脳卒中の治療は、時間との闘いともいわれます。早く治療を受けることで死を免れたり、後遺症が軽くなる可能性が高まります。とくに脳梗塞の場合は、発症から3時間以内に治療すると、後遺症を軽減する可能性がぐんと高くなります。発作かなと思ったら、たとえ症状が軽くても、少し様子を見ようなどと思わずに、すぐ救急車を呼んでください。

病気やケガで 働けなくなった時のこと

働けなくなった!?

長期間の入院や在宅療養をする場合、働けない状態が続くこともあります。

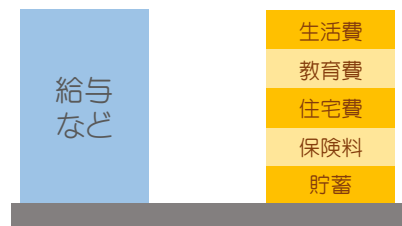


例えば

- 脳梗塞のため入院後、半身まひで障害状態に
- 交通事故による長期間の入院

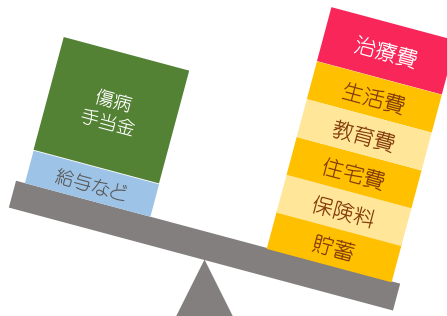
働けなくなったときの収支について 考えてみましょう

健康な状態の収支バランス



働けなくなった状態が続くと収入が減少する一方で、治療費や生活に必要な支出は続きます。治療費については、医療保険などで準備できる場合もありますが、生活費などへの備えがないと、経済的に不安定になる可能性があります。

就業不能状態の収支バランス



長期の治療により就業できない場合、**傷病手当金**や**障害年金**などの公的保障の給付が受けられる場合がありますが、給付期間や金額にそれぞれ制限があります。

公的保障について知りましょう

- 働けなくなったときの公的保障には、傷病手当金と障害年金があります

傷病手当金

業務外の病気やケガの療養のための休業であり、仕事に就くことができず、休業中の給与の支払いがない場合に支給されます。傷病手当金は、被用者健康保険の加入者が支給対象で、自営業者や、会社員等の被扶養者には支給されません。

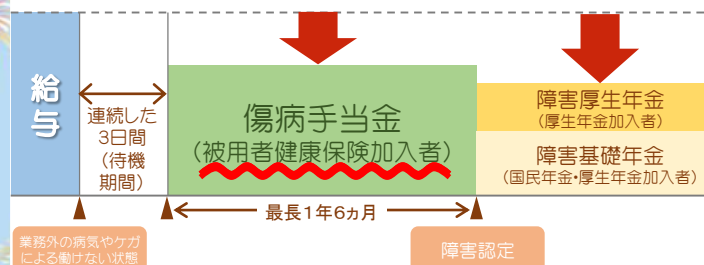
障害年金

病気やケガで一定の障害状態になったときに支給される年金で、国民年金から支給される「障害基礎年金」と厚生年金から支給される「障害厚生年金」があります。

- 会社員などの方と自営業などの方では、受け取れる公的保障の種類が異なります

	傷病手当金	障害年金	
		障害基礎年金	障害厚生年金
会社員などの方	● (被用者健康保険加入者)	● (厚生年金加入者)	● (厚生年金加入者)
自営業などの方	—	● (国民年金加入者)	—

- 病気やケガで働けなくなったときの公的保障の支給イメージ



投資の3つのルール

「投資は怖い」という声があります。例えば、株であれば「安い時に買って、高い時に売って儲ける」というようにイメージされている方も多いと思います。しかし、これはどちらかというと「投機」と呼ばれるもの。「投機」のように、短期的な株価の値動きが重要になる取引は、さまざまな要素が複雑に絡み合っているため、大変予測が難しく毎回うまくいくとは限りません。それに対して、「投資」はじっくりと時間をかけてお金を育てていきます。多くの場合、投機ほど短期間に大きく増えることはありませんが、その逆もほぼありません。「投機」ではなく「投資」であれば、初心者でもリスクを抑えて運用することができます。そのために、大切な3つのルールがあります。

資産分散

運用にあてる資産の全てをひとつの運用対象に集中させるのではなく、値動きの異なる複数の運用対象に分けて運用することが資産分散です。

長期運用

投資は、短期の値動きに一喜一憂しながら行うものではありません。短期的なブレは、長期的視点からは一通過点にすぎません。運用期間を長くすることで、短期的な価格のブレによる影響を抑え、安定的なリターンを期待できる可能性が高まります。

時間分散

投資するタイミングを分散しましょう。運用対象を分散し、長期に取り組む姿勢を保ったうえで、時間を分散する方法を身に着ければ、より安定的なリターンが期待できます。価格の変動がある運用対象に投資する場合、投資する時期やタイミングによってリターンのブレも大きくなる傾向があります。時間分散とは、運用対象を一時点で一度に買うのではなく、時期を分けて少しずつ買うこと、つまり、一括投資ではなく積立投資を行うことです。

女性のためのマネーセミナー

5月25日に佐賀市にて開催された「未来のワタシへ ～サトユミと聞きたい簡単♪ マネー講座～」にて、ベストプランニング代表の栗原が講師を務めました。

約100名の女性を対象としたマネー講座で、「老後の資金」「年金」「教育資金」「住宅ローン」「NISA」「iDeCo」など、お金に関する言葉はよく聞けけれど、イマイチよくわからない、何から始めればいいのか



のかいいのかかわからない、そんなお悩みに答えるため、お金についての考え方や基本的なことについてセミナーを行いました!!
ご参加頂きました皆様ありがとうございました。
ご参加頂いた方からは「参考になった」ととても好評の声を頂くことができました。